



明けましておめでとうございます。今年は、ジパング倶楽部に入れる・・・ん～、複雑 Jan.-1/2015

昨年暮れ、「スタッドレスタイヤ」を履いた。サラリーマン時代、豪雪地方を中心にスパイクタイヤが、雪解け後の粉じん道路公害で問題になっていた頃、僕は毎年冬タイヤ用の「スノー用アルミホイール」を設計していたが、当時スタッドレスタイヤへの信頼度はまだまだ低かった。あれから幾十年、初めての「スタッドレスタイヤデビュー」は、正直ドキドキものだったけど、技術の進歩には目を見張った。なんでもタイヤの微細な気泡が氷面の水を吸収するのだという・・・。やっぱり技術屋の端くれは理屈に弱い・・・。新年初の気まぐれ通信、第37号お届けします。本年もよろしくお願ひ致します。☆ 人は、人や物を描こうとする時、対象物と画面の間を無数の意識の線が頭の中を巡り、目線が飛び交う。その自分の形が生まれるまでに必要とされ、完成作品には残らずやがて失われていく恐ろしいほどの数の線は「ためらい線」と呼ばれ、その繰り返される永い永い「悩み、迷い続けた線」の修練の結果、(そこにはおそらく言葉にできない無言の、葛藤や不安や期待に感動が蠢き、1/100秒か1/1000秒かに張り巡らされる神経の網の中で、)おもむろに走る指先の中で画面に定着し、やがて徐々に一本に集約され「深い想いと感動の形」が軌跡となって現われてくる・・・。とまあ、何やらややこしく回りくどい言い回しで大変恐縮ですが、実はこの無意識にも近い「ためらい線」の存在は、一般的に「デッサン」と呼ばれる基礎的な「描く」という所作の中で、とても重要な役割を果たしていると思うのです。それは、単に絵画の世界のみに留まらず、映画、演劇、アニメ、漫画、彫刻、工芸、デザイン等々日常の身近な生活の中にあつて、類まれな美しさや感動を産み出し、作り手自身の個性や生き様をも表現してくれる、その第一歩と言っても決して過言ではないような気がするからです・・・。

ここ数年、小中学生の絵に触れる機会がとて多くなり、色々な作品を見せていただきますが、いつも何か腑に落ちない気持ちが残り、わだかまりの様になっていました。ある時、ふと一枚の鉛筆で描かれた絵を観たとき、何とも不安で自身の無さそうな線に出会いました。次々と子供たちの絵を観ていくと、やはりほとんどの子供たちが一本の線で形を表現しようとしているように見受けられ、しかもその線にあまり迷いが感じられない・・・。だけでもその線は、自分の想いをどうして良いか戸惑っている線の様にも見えてしまいました。「もしかすると、今の子供たちの絵には、ためらい線が・・・無い?」

絵を描くことや観ること、音楽を聴くことや楽器を奏でること、あるいは本を読み、文章を書く事など自分自身の感受性や感情・自己表現等を豊かにする、いわゆる「情操の心」を育むことは、人が「人として」生きる大切な「基礎体力」であり、その人自身の「あらゆる出発点」になる程重要ではないかと思ひます。そんな「情操教育」にたくさん触れて欲しいのが、子供たち。そしていつも、「明るく」「元気で」「素直な」「良い子」であることを求められる子供たち。もちろんそれらはとても大事なことです。でも、君たちの「迷い」や「不安」、「悩み」や「ためらい」にこそ、しっかりと向き合っ欲しい・・・

- |                     |                 |                    |
|---------------------|-----------------|--------------------|
| ① 4月1日～4月5日         | ・第19回日仏現代国際美術展  | 東京・上野 東京都美術館       |
| ② 4月29日～5月11日       | ・第89回 国展        | 東京・六本木 国立新美術館      |
| ③ 4月20日～6月19日       | ・個展(藤田泉版画展)     | 静岡・しずおか信用金庫本店ギャラリー |
| ④ 6月15日～6月28日       | ・TOKYO PIXELS 展 | 岡山・倉敷 ギャラリー倉敷      |
| ⑤ 7月3・4・5 10・11・12日 | ・TOKYO PIXELS 展 | 福島・二本松市 あだたら高原美術館  |

**\*あとりえ\***

・「心配ありません、ごく普通の胃潰瘍です。じっくり治していきましょう。」と言われて八カ月。ようやく明るい兆しが・・・と、思ったら今度は中性脂肪とコレステロール値が・・・やれやれ。

□ [遊刊 Zum ブログ版](http://izumift2563.hamazo.tv/) <http://izumift2563.hamazo.tv/> 「藤田泉・版画」でも検索できます。

□ ご意見・問合せ 〒439-0005 静岡県菊川市潮海寺 121-8 藤田泉方「Zum 編集室」まで。  
TEL/FAX 0537-35-3758 Eメール [muz6305@gol.com](mailto:muz6305@gol.com)です。